

活動報告

団体名	認定 NPO 法人日本レスキュー協会
活動名	令和元年 8 月九州豪雨災害被災者支援および支援者サポート事業
活動期間	2019/08/28~2019/09/26
活動の成果	<p>今回の災害では、佐賀県内の様々な NPO が災害発生時に協力して支援を行う任意団体である「SPF（佐賀災害プラットフォーム）」の事務局を担いました。この活動では、被災地で活動する行政機関やボランティア団体などの関係機関が集まり、活動や情報を共有するための情報共有会議を開催し、様々なニーズや情報を集約し、各団体が持つ知識や経験、知見を共有しながら被災地支援に臨みました。このことにより「人」「もの」「資金」「情報」を必要となる場所に円滑にお届けすることができました。また被災ペットの支援は、各地で様々な要望があがっていました。例としてペットの室内受入れを不可とした避難所で、ペットを自宅に置いて避難された方や、土砂が流れ込んだ危険な状態の自宅で生活されている方がおられました。また、ペットと一緒にであるがゆえに暑い屋外で寝泊りをしている世帯に関しては、安全を守るための応急処置として、当協会が所有しているキャンピングカーを貸出し、ご自宅が住める状態になるまでの間、毎日見回りと給油作業を行いました。利用された方からは、「ペットと一緒に過ごせる場所を作ってくださり涙が出そうになりました」という喜びの声をいただきました。一時的ながら、安全に避難生活を送っていただくことができましたが、ペット同伴可能な避難所を整備することの必要性を改めて実感しました。ペットとの避難に関する問題を少しでも解決に近づけるため佐賀県庁へ訪問し、聞き取りをしたニーズをお伝えするとともに、ペットも室内で一緒に生活ができるペット同伴の避難所の新規設営にむけて過去の災害での事例を含めて提案しました。その他にも、地元メディアに取り上げていただくことができ、被災地におけるペットに関するニーズの存在や支援の必要性の周知に繋がったのではないかと思います。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度は、あたたかいご支援をいただき、誠にありがとうございます。今回の災害では、被災者の方がペットに関する要望をどこに相談してよいのかわからず、ニーズが埋もれてしまいがちであることを痛感しました。この活動によりメディアには取り上げられていない、「声にならない声」をたくさん聞くことができ、その声を元に1頭でも多く1人でも多くの支援に繋げることができました。心よりお礼申し上げます。今後も、必要とされる方への支援活動が継続できるよう、また、災害時にペットが取り残されない社会を目指して、活動を続けて参りますので、どうぞご支援をよろしくお願いいたします。</p>

(活動のようす)

